

ダケカンバ； 標高900メートルくらいから現れる、高木の落葉樹です。毎年雪の重みに耐えながら生長していく樹木です。雪の重みを楽しんでいるのかもしれないですね。腰折れ、引き裂かれても尚その場から癌として立ち去ろうとしない姿に、圧倒されます。樹木は、夏の姿と冬の姿では様相が違います。どこが違うかと言えば、夏は衣を纏い、冬は裸になります。(ただし、針葉樹は違います。)この木が持つ本来の生き様は冬の生活に見られます。その姿を見たい方は冬の「白岩岳」でおめにかかれます。

<カバノキ科>



ウワミズザクラ； 桜と言えば、有名なのが吉野サクラ、シダレザクラ、ヤマザクラ。花の形が同じです。ところがこのサクラ、花の咲き方がおよそ通常のサクラと違います。白く長く筒状に咲きます。筒状の周りにたくさんの小さな白いサクラ状の花が咲きます。香りもよいです。秋にはいっぱい実をつけ、小鳥の餌になるでしょう。

<バラ科>

